

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活協同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	長岡市内で複数の診療所や介護保険事業を運営している法人が2010年4月に開設。地域交流スペースわいが家を併設し機能訓練や足湯ができる環境があると共に地域住民との交流の場にもなっている。隣接地には診療所や複数の介護施設もあり緊密な連携が図れている。日々笑って過ごして頂けるよう個別の対応に重点を置いています。
事業所名	プラット新町	管理者	皆川 諭		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	2人	2人	1人	3人	3人	0人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●アセスメント能力向上を図るため、全職員での学習会を開催する。 ●部署会議を利用し、運営推進会議で得た情報を全職員で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生活行為向上マネジメント講習に職員1名が参加。伝達講習も行った。興味・関心チェックシートを利用者数名に対して行ったが全利用者には行っていない。 ●運営推進会議で指摘を受けた点や評価を受けた点について部署会議で周知している。必要であれば検討し改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●出来ることに着目した取り組みは良いと思うのでシステム作りを楽しみにしています。 ●虐待や成年後見制度の勉強会も是非行ってほしい。 ●医療・リハビリとの連携の体制作りが少し見えにくい。頻度を明確にするなどした方が取り組みやすいのでは？ ●リハビリを楽しみに寄せてもらっているのがありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●出来ることに着目した報告様式を作成し過介助の防止に努める。 ●リハビリ職員との情報交換ノートを作成する。またリハビリ支援を週2日に増やせないか協力機関に依頼し、リハビリ内容をケアプランに反映させる。 ●医療との連携の強化(利用者情報の共有や相談の機会を概ね2~3ヶ月に1度設ける) ●職員のスキルアップの為に各種研修への参加を促す。また、事業所内勉強会も概ね2ヶ月に1回実施していく。 ●新規利用者の受け入れを担当する職員をある程度固定し、事前訪問や契約に可能な限り同行する。情報収集と本人・ご家族との初期からの関係構築に努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●案内表示を分かりやすく気づきやすい内容、サイズへ変更する。 ●掲示板を利用し、行事を中心とした取り組み・案内を行なう。 ●「来館者への接遇と対応」についての勉強会を行なう。(6~8月) 	<ul style="list-style-type: none"> ●案内表示をA3サイズに、デザインも目立つものに変更した。わいが家に来られた方の見学が2件程あった。 ●掲示板の利用はできなかった。 ●「来館者への接遇と対応」の勉強会は行えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●入りにくいとは聞かない。地域に密着していると思う。 ●利用者、職員に良い雰囲気を感じる。 ●初めてきた時はドアが開けづらいと感じたが入ると温かい挨拶で迎えられた。 ●パンフレットを置いて事業所のアピールの意識付けが出来るが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●プラット玄関、わいが家、診療所などの近隣施設にパンフレットを常時置かせていただく。また、飛び入りで来所された方に施設案内や説明が全職員が出来るよう「施設紹介マニュアル」を作成する。 ●制度改正に向けて「小規模多機能」という施設を職員がより知る為の勉強会を行う。(3月を予定) ●玄関周辺的环境整備の強化(玄関前に看板の設置、玄関前のプランター等)

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●町内での回覧板利用を継続的に働きかける。(事業所への回覧依頼も行なう) 	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度より町内会長、民生委員さんに参加していただいている。回覧板を廻して頂けるようになり地域の情報が入ってくるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●回覧板を回しているのは泉町だけでいいですか？(現在はそうですと回答) ●西蔵王にも働きかけても良い気がします。 ●同業者だがどの程度知られているのかわからない。 ●生協の介護施設としての認識はあるがプラット単体としての認知度は低い印象。プラットをアピールする為の工夫が必要ではないか。 ●わいが家を利用したイベントを行う時にはプラットとわいが家の仕切りの戸を開放すると良いですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ボランティアを招いた行事を行う事で、近隣施設や地域の方々足を運んで頂く機会を作り「わいが家」のスペースを有効活用する。(6月と11月の年2回を予定) ●引き続き回覧板を回して頂き、可能であれば、事業所が相談窓口でもある事を知っていただく内容の文章を回覧させていただく。また、上記の行事の案内も回覧させていただく。
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●民生児童委員連絡協議会を通じ、全ての利用者町内の方と情報交換を行い、ご本人の在宅生活を支える支援に反映させる。 ●計画的な外出計画と、天候に応じた少人数での外出(ドライブ、散歩、お茶会等)を可能な限り実施する。(利用者の意向を反映した内容となるように部署会議で職員への啓蒙活動を行う) 	<ul style="list-style-type: none"> ●民児協の定例会議に数回参加させていただいた。5月に介護保険を利用するまでの流れと事業所の特徴について説明会を開いた。 ●ドライブや外でのお茶会などを出来る限り行い、利用者本人やご家族の希望に沿いながらの個別外出を数件行った。 ●秋にバスハイクを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「全ての利用者町内の方」の解釈がわからない。事業所のある地域？利用者の住む地域？全く出来ていないわけでもないと思うが… ●利用者の生活する地域を知り、何があるのか話し合うことが大切です。 ●利用者の背景を知るためには自宅を中心として焦点をあてていく必要があると思います。 ●民児協の会議は「地域の方を交えた会議」に該当していると思います。 ●コミセンの中でも部がたくさんあり、生涯学習・映写会・交番の水やりなど色々活動をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●民児協定例会議に引き続き参加させていただき民生委員との関係構築、情報交換に努める。 ●「興味・関心チェックシート」を全利用者に実施し、会話の中から「以前の暮らし」や「本人の思い」をより多く汲み取り、支援に生かしていく。 ●職員が民生委員の役割、本人を取り巻く地域資源について知る機会を設ける。(勉強会の開催)
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議において「検討課題」の項目と時間を設け、事業所運営上の課題(地域での取り組みや心配な方に対する対応)等について話し合いを行う。 ●運営推進会議メンバーに地域の有識者として複数参加していただき情報量の確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議において「検討課題」の項目の時間は、設けなかった。事業所側からの報告のみになっている傾向があった。 ●運営推進委員に町内会長(民生委員兼務)、ご家族代表が新たに民生委員になられ、地域に関する情報量が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会長の協力も得られ始め、これからだと思います。 ●(包括職員、民生委員より)地域で困っている方がおられれば相談させていただきます。 ●ヒヤリハットも振り返りをしながらその後に繋げているので継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議に主任、ケアマネ以外の職員も参加し、現場職員から地域の方や他事業所の方に聞いてみたいことなどがあれば確認していく。また、会議内にて頂いた意見を運営に生かす。 ●運営推進委員に地域の方に入っただき、会議を地域の情報交換の場とする。(近隣保育園の職員さんや隣の町内の町内会長さん等)
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●回覧板、掲示板を利用した防災訓練見学、参加の呼びかけを行う。 ●町内会長に依頼し、町内の実情に添った効果的な方法について助言をいただく。 ●法人広報誌に訓練の案内を掲載し、地域からの参加を呼びかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月に防災訓練案内の回覧を町内会長さんに依頼した。 ●泉町に防災計画や訓練がない現状がある。 ●法人広報誌に訓練の案内を掲載することはできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣地域では防災訓練を行っている所もあるので参加してみてもいいですか？ ●「これを見て来た」等の事例があると職員にもプラスになると思うので、エリアが違っても防災訓練の情報発信をしていく事も良いですね。 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害訓練の開催案内の文書を回覧するエリアを広げる。 ●泉1丁目と西蔵王1・2丁目の防災訓練へ参加し協力関係を築いていく。